

平成 30 年度 対ドミニカ共和国 草の根・人間の安全保障無償資金協力 署名式



9 月 19 日（水）、日本国政府による草の根・人間の安全保障無償資金協力「ニグア市ハンセン病療養所建設計画」の署名式をメルセス会修道女会宿舎において実施しました。署名式には、被供与団体関係者が出席し、団体代表者と牧内博幸在ドミニカ共和国日本国大使との間で贈与契約が締結されました。署名式において、牧内大使は「現在のハンセン病療養所は、建設時の施工不良による不具合に経年劣化が加わり、施設の安全性に問題を抱えていました。今回のプロジェクトで新たに建設される療養所により、同施設に入所している皆様の居住環境が改善され、快適な環境の下で療養できることを願っています。」と述べました。案件の概要は以下のとおりです。

ニグア市ハンセン病療養所建設計画

- ・ 供与金額：86,415 米ドル
- ・ 案件概要：現在のハンセン病療養所は、政府の支援により 1981 年に建設されたものですが、建設直後から施工不良による雨漏りや亀裂が確認され、被供与団体が修繕を行いながら使用を続けていました。さらに、近年では経年劣化も重なり、療養所の安全性が問題となっています。このため、新たな療養所を建設し、現在の療養所に入居するハンセン病患者の居住環境の改善に寄与します。





2018 年は
草の根誕生 30 周年



くさのネコ